会員のひろば

北海道医報では、特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容等を除いた幅広い多様性のあるご意見を掲載させていただいております。

地域に根ざし、骨折を防ぐ医療を目指して

千歳医師会
新千歳クリニック
河野（かわの）　哲也（てつや）

このような寄稿の機会をいただけましたことを、心より感謝申し上げます。自己紹介が中心となりますが、お付き合いいただけますと幸いです。

私は茨城県で高校まで過ごし、2010年に秋田大学医学部を卒業いたしました。卒業後は秋田大学整形外科学講座に入局し、大学病院および関連病院にて研鑽を積んでまいりました。

将来の方向性を模索していた折、当法人理事長の宮井保尚先生とのご縁をいただき、2024年８月より現在のクリニックに院長として勤務することとなりました。これまで長く勤めた秋田を離れ、全く新しい地域で診療を始めることに対しては、正直なところ不安もございました。特に、患者さんに何かあった際に相談・紹介できる医療連携の経路が分からないこと、横のつながりが希薄である可能性などが懸念されておりました。しかし、千歳医師会をはじめ、整形外科以外の診療科の先生方とも徐々に良い関係を築くことができ、現在では大変心強く、安心感を持って地域医療に取り組めております。

秋田県は日本でも有数の高齢化地域であり、日々の診療の中で骨粗鬆症に関連する症例に多く触れる機会がありました。総合病院での勤務時代は、骨折を起こした患者さんを中心に、骨折後の骨粗鬆症治療に携わることが多い環境でした。

クリニックでの診療は、患者さんを発症から回復まで継続して診ることができ、より長期的な視点から関わることが可能です。特に骨粗鬆症の診療においては、骨折後に治療を開始する「二次予防」だけでなく、骨折を起こす前に介入する「一次予防」の重要性を強く感じています。当院では骨粗鬆症リエゾンサービス（OLS）にも取り組んでおり、今年は骨粗鬆症マネージャー資格を有する看護師も誕生しました。今後もチームとして連携を深め、地域全体の骨折予防に寄与したいと考えております。

また、当院では、リハビリテーションにも重点的に取り組んでいます。これまでの経験では、痛みの軽減を目的とした注射に頼る場面も多くありました。しかし、症状の根本原因にアプローチするには、適切なリハビリが不可欠です。当院には熱意あるスタッフが多く、リハビリによって患者さんが着実に改善していく姿を、日々目にしています。今後もリハビリスタッフと密に連携し、患者さん一人ひとりに最適な治療計画を提供していく所存です。

さらに、当院では整形外科診療に加え、美容外来にも力を入れている点が特徴です。勤務前は美容医療に馴染みが薄かったのですが、実際には患者さんのニーズが高く、施術によって自信や前向きさを取り戻される方も多いことを実感いたしました。自由診療ではありますが、患者さんの心身の健康に良い影響をもたらし得る領域として、重要性を再認識しております。

最後に、組織としての抱負について申し上げます。医療情勢や医学的知見は絶えず変化し続けています。そうした中で、私たちは最新の知識や治療法に遅れを取らぬよう不断の研鑽を重ね、常により良い医療を提供し続ける組織でありたいと考えております。スタッフ一人ひとりが主体的に学び成長することで、地域の皆様に信頼される医療機関として歩み続けることを目指してまいります。